

記号	ビデオ(DVD)名 ※(DVD)の表記のないものは、すべてVHS(ビデオテープ)です。	企画・制作	時間	人権課題等												対象							活用例	種別	内容	購入年度	備考						
				女性	子供	高齢者	障害者	同和問題	アイヌの人々	外国人	HIV感染者・ハンセン病患者等	犯罪被害者やその家族	インターネットによる人権侵害	北朝鮮による拉致問題	災害に伴う人権問題	ハラメント	性的指向	性的指向	路上生活者	様々な人権課題	その他	幼児						小1・2・3年	小4・5・6年	中学生	高校生	大学生・一般	教職員
す 10	スクール・コンプライアンス第3巻 高校編 (DVD)	日本経済新聞出版社	22分																										○	ドラマ	高校を舞台に内申書への虚偽記載、セクハラ、リベート、個人情報保護、著作権違反等をドラマで解説します。	24	
す 45 48	スマホの安全な使い方教室 (DVD)	東映	23分		○													○					○						○	ドラマ	スマートフォンを介して、無料通話アプリや投稿サイトを利用することで、子供たちはいつでもどこでも他人とつながることが出来ますが、スマートフォンを介したSNSでのトラブルも増加しており、子供たちへの教育が重要になっています。個人情報の取扱い、無料通話アプリやSNSに潜む危険など最新の話題を取上げ、スマートフォンの安全な使い方を学ぶことが出来ます。	27 28	
つ 1	紡ぎだす未来～共に生きる～	人権啓発ビデオ作成委員会	35分			○	○	○									○							○		○	○	○	ドキュメンタリー	被差別部落出身者、在日コリアン、日本に住む外国人など、身近にいるかもしれない差別を受けている当事者の日々の思いをドラマで描いています。	20		
て 8	デジタル時代の著作権(指導者編)	鹿児島文化企画	17分															○												ミニドラマ	現在、著作権はインターネットなどデジタル化された情報社会の発達によって、私たちの生活の中でとても身近になっています。著作権という権利を守ることは、自分の権利を守ることもあります。この作品では、学校生活で気を付けなければいけない事例を挙げ、解説しています。	18	
て 9	デジタル時代の著作権(生徒編)																			○													
な 6 7	なくそう子どものネット悲劇(保護者、指導者用)	アクターズファクトリー	17分		○														○											解説	インターネットの世界でも守られなければならない約束があります。どのような点に気を付ければ快適で安全なインターネットを楽しめるか具体的な事例をあげて子供たちに分かりやすく解説しています。人権教育プログラム(平成17年3月)の事例に活用できます。	17	
な 7	なくそう子どものネット悲劇(生徒用)																				○												
ね 7 8	ネットの暴力を許さない	東映	19分		○															○										ドラマ	プロフを通じてのいじめを扱い、人を傷つけることの愚かさにつげさせます。本編10分間の後、出演者からの感想が9分間あります。情報モラルやいじめ問題について生徒に考えさせる学習に活用できます。	21	
ね 8	ネットの暴力を許さない(DVD)																					○											
ね 17	ネットいじめから子供を守る(DVD)	映学社	27分		○																						○	○	ドラマ・解説	ある中学生のネットいじめの事例をドラマ形式で描いています。「ネットいじめは絶対にしてはいけない」ということ、様々ないじめの対処法、インターネット・リテラシーの基本などについて子供たちに考えさせ、知識を身に付けさせることができる内容です。	25		
ふ 25	二つの道	企画/法務省保護局制作/榎テレバック	30分																											ドラマ・解説	人を傷つけてしまいがちながらも、その罪の重さを受けとめ、更生を誓った少年がいます。周囲の冷たい視線や無理解にさらされ、再び過ちを繰り返してしまう「道」と、周囲の温かな言葉と眼差しが彼の更生の決意を守る助けとなった「道」の二つの道が描かれます。あなたのふとした一言や何気ない態度が誰かの人生を変えるかもしれません。	23	
へ 7 8	便利?それとも危険?ケータイ・ネットでのコミュニケーションを考える(DVD)	映学社	22分		○																									ドキュメント	“コミュニケーションの道具としてのインターネット”という切り口で、インターネットを上手に安全に使う方法を学んでいけるよう「中学生・高校生向け」として1. ネットのコミュニケーション 2. ネットいじめ 3. ネットの情報の見分け方と個人情報の3項目に分けて「インターネットによるコミュニケーションとはどのようなものなのか」「より良いコミュニケーションのためには、どのようなことに注意したら良いのか」を考え、理解を深めさせる内容です。	28	
ま 4	街	企画/法務省人権擁護局制作/東映	45分																										○	ドラマ	保護観察処分中の哲夫には虚言癖があり、本当の友人がいません。ある時、勤務先の弁当屋で朝番を頼まれたことをきっかけに、早朝の地域の人々の暮らしにふれます。同じ街の人の温かくてさりげない思いやりにも助けられ、哲夫は心を開き始めます。	11	

記号	ビデオ(DVD)名 ※(DVD)の表記のないものは、すべてVHS(ビデオテープ)です。	企画・制作	時間	人権課題等												対象								活用例	種別	内容	購入年度	備考					
				女性	子供	高齢者	障害者	同和問題	アイヌの人々	外国人	HIV感染者・ハンセン病患者等	犯罪被害者やその家族	インターネットによる人権侵害	北朝鮮による拉致問題	災害に伴う人権問題	ハラスメント	性的指向	性的指向	路上生活者	様々な人権課題	その他	幼児	小1・2・3年						小4・5・6年	中学生	高校生	大学生・一般	教職員
ま 8	ま・さ・か わたしが!? ～情報社会を考える～	企画／兵庫県・兵庫県教育委員会・(財)兵庫県人権啓発	25分																											ドラマ	情報化社会では、「まさか、私の流した情報がこんな人に苦しめるとは…」「まさか、私がこんな目に遭うとは…」ということがおこりがちです。情報や情報機器を有効に活用し、ますます進展する情報化社会の中で、どうすれば豊かな人間関係を築き、互いの人権が尊重される社会にできるかを問いかけます。	15	
み 32	みんなの情報モラルI アニメーションで学ぶ! ネット社会のルールとマナー (DVD)	コムパレット	43分	○						○									○	○	○	○	○						アニメ	スマホ、ネットとの付き合い方を学ぶ映像教材で、幅広い年代で活用することができる教材です。内容(夢中になりすぎて、ホントの友だち、かくれた情報、送った写真、乗っ取られたアカウント、甘い言葉のかけに)	28		
も 2	もう一人の私	企画／人権啓発ビデオ制作委員会 (社)部活解放・人権研究所・大阪府・大阪市・堺市制作／株式会社元気な事務所	27分																					○						ドキュメンタリー解説	今日、個人情報は行政機関・民間企業・団体といったところへ蓄積されている。個人情報を提供することで利便性が増す一方、その大量な外部流出が深刻な人権侵害を引き起こす危険性をもはらんでいる。ますます重要性を帯びてきたプライバシーの権利・個人情報保護をテーマに、私たちの人権について学びます。	15	
や 3	やめよう!ネットでは と 悪口	教記	27分							○											○	○	○						ミニドラマ・解説	インターネットを使うときに、他人に迷惑をかけたり、お互いに不愉快な気持ちにならないように、上手に利用するにはどうしたらよいのかを紹介しています。	18		